

第4回 気候変動を踏まえた砂防技術検討会

○第4回検討会においては、気候変動によって、近年頻発化の傾向にある土砂・洪水氾濫により、大きな被害のおそれのある流域の抽出方法等について議論。

○今後は、今回の委員からの意見を反映後、令和4年3月15日に第5回検討会を開催し、「土砂・洪水氾濫により大きな被害のおそれのある流域の調査要領(案)(試行版)」を3月末頃にとりまとめ予定。

■検討会委員

- 内田 太郎 筑波大学生命環境系准教授
- 執印 康裕 九州大学農学研究院教授
- 中北 英一 京都大学防災研究所教授
- 藤田 正治 京都大学防災研究所教授 (座長)
- 堀田 紀文 東京大学大学院農学生命科学研究科准教授
- 松四 雄騎 京都大学防災研究所准教授



第4回検討会の状況 (Web会議形式)

■これまでの開催経過

- 令和元年12月9日 現地調査会
- 令和2年1月8日 第1回検討会
- 令和2年5月21日 第2回検討会、6月中間とりまとめ公表
- 令和3年3月5日 第3回検討会
- 令和4年1月6日 第4回検討会

議事:土砂・洪水氾濫により被害のおそれのある流域の抽出方法等について

■委員からの主なご意見

- ・気候変動を踏まえた砂防技術の研究・開発については、検討とともに、現場に適用しながら進めていくことが重要。
- ・調査要領(案)の条件に該当しない流域が土砂・洪水氾濫のおそれが無いとは言えない。おそれの有無の評価ではなく、リスクの段階的な評価であることが分かるよう作成する必要がある。

■今後の予定

- ・第4回検討会における委員からの意見を反映後、3月15日に第5回検討会を開催
- ・3月末頃「土砂・洪水氾濫により大きな被害のおそれのある流域の調査要領(案)(試行版)」とりまとめ予定

土砂・洪水氾濫により大きな被害のおそれのある流域の抽出

発生ポテンシャル	被害ポテンシャル
<ul style="list-style-type: none"> ・過去に土砂・洪水氾濫が発生した流域 ・近年、土砂・洪水氾濫が発生した流域と同様の地形的特徴を有する溪流 	<ul style="list-style-type: none"> ・保全対象がある <p>土砂・洪水氾濫により大きな被害のおそれのある流域の調査要領(案)(試行版)</p>

近年、土砂・洪水氾濫が発生した流域と同様の地形的特徴を有する流域の調査概念図

